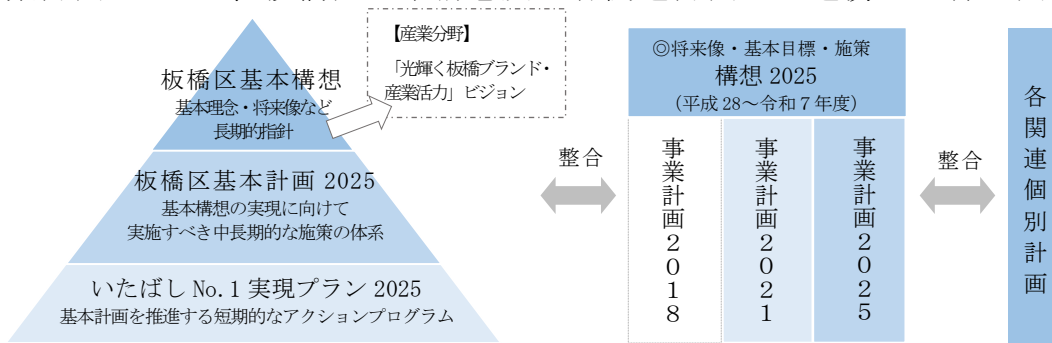


4 計画の位置づけ

事業計画 2025 は、板橋区基本構想及び各関連計画との連携・整合を図る。



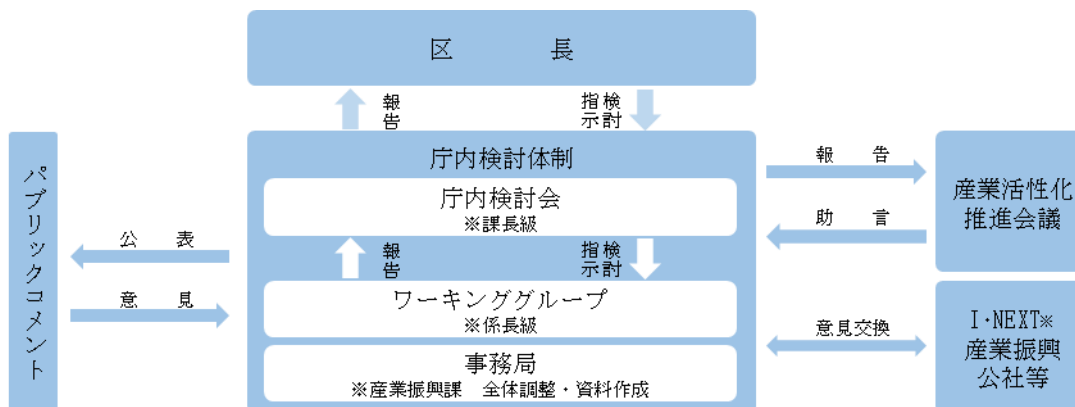
5 検討体制

(1) 庁内検討会（課長級）及びワーキンググループ（係長級）

産業経済部長を会長とする関係課長で構成する庁内検討会及び産業振興課長をリーダーとする、関係係長で構成するワーキンググループにおいて検討を進める。

(2) 産業活性化推進会議

庁内検討会及びワーキンググループで検討した事項について、学識経験者や関係団体の構成員、区民委員等 11 名で構成する産業活性化推進会議で意見を聴取する。



※I-NEXT:板橋区次世代経営者会議。区内経営者のネットワーク形成を目的とした会議体。

6 区内事業者への実態調査

区内産業の現状を把握するため、令和 3 年 2 月から 3 月にかけて郵送・電子メール、対面等の手法により区内事業者に対してアンケート調査を実施した。また、アンケート調査回答者の中から、先進的な取組を行っている事業者に対して適宜ヒアリングを行い、事業計画 2025 の策定や今後の施策に活かしていく。

7 検討スケジュール

令和 3 年	5 月～6 月	基本方針（庁議、区民環境委員会報告）
	8 月～9 月	中間のまとめ（庁議、区民環境委員会報告）
	10 月～11 月	素案（庁議、区民環境委員会報告）
	11 月	パブリックコメント実施
令和 4 年	1 月～2 月	原案（庁議、区民環境委員会報告）
	3 月	事業計画 2025 策定

「板橋区産業振興事業計画2025」の概要表

めざす将来像 ～産業振興構想2025～

未来を輝かせる産業文化都市・いたばし

今後4年間でめざす産業振興の進むべき方向

地元事業者が稼ぎ、雇用を創り、消費を生み出すとともに、「ポスト・コロナ」を見据え、持続可能な区民生活を維持するための人口と活力、循環をめざす

事業計画2025で重視する4つの観点

人づくり

ブランド力向上

にぎわい
魅力再生

まちづくり
との連動

板橋区産業振興事業計画2025 イメージ図



人づくり

- 円滑な事業承継・技能継承と創業支援による区内産業の新陳代謝と再活性化（工・商・農）
- 外国人・女性・高齢者・障がい者等の活躍のサポート（工・商・農）
- 事業の成長を支える人材（代表者・後継者・従業員）の育成のサポート（工・商・農）
- 働き方改革等の推進による人材定着率の向上（工・商）

ブランド力向上

- 区内事業者のSDGsに対する認知度の向上と普及に向けた機運醸成（工・商・農）
- 光学系企業をはじめ、区内のリーディングカンパニーとの連携・交流による、区民生活の向上と区内産業への波及効果の模索（工）
- AIやIoT、ロボティクス、5Gなどの第4次産業革命・スマート化への対応（工・商・農）
- 「板橋のいっぴん」のリニューアル等による魅力ある商品の発掘とPR（商）
- 工業・商業・農業や他分野との連携による新たな板橋ブランドの創造（工・商・農）
- 志村みの早生大根や板橋農業ステッカー等の活用を通じた、板橋農業ブランドの魅力発信（農）

にぎわい魅力再生

- 商店街が実施するイベント事業等への支援による賑わいの創出（商）
- 各個店の魅力向上支援や、個店同士の連携支援による集客力の強化（商）
- 農業まつり、板橋ふれあいマルシェ、区民農園収穫祭などのイベントと通じた農業を軸としたにぎわいの創出（農）

まちづくりとの連動

- 駅前拠点整備と連携した商店街の活性化や、企業・大学や人材、情報が集い、経営・技術革新が生まれる環境の整備（工・商）
- 板橋区都市づくりビジョンと連動した、住工共生のまちづくりの検討と推進（工）
- 国の史跡に指定された陸軍板橋火薬製造所跡における、文化財の調査研究や展示などのソフト事業の実施による、歴史的価値の周知・PR（工）